



Good luck. Good life.

**SANKYO**

# SANKYO VISION 25-27

— 持続的成長への号砲 —

中期経営計画 (2025/3期 ~ 2027/3期)

2024年5月9日

株式会社 SANKYO

銘柄コード 6417

# SANKYO VISION 25-27

## — 持続的成長への号砲 —

パチンコ・パチスロ業界のリーディングカンパニーとしてエンターテインメントを通じて人々の笑顔を創出し遊技産業の活性化・発展と共に持続的な企業価値向上を目指します

### 事業戦略

パチンコ事業の盤石な体制の構築  
パチスロ事業での成長加速

### 財務戦略

ROEを意識した適切な投資及び  
株主還元に取り組む

持続的な企業価値の向上

### ESG・サステナビリティ

サステナビリティ課題への取り組み、  
IR・広報機能の強化

## 『産業の発展と当社グループのさらなる成長を目指す』

### 2027/3期計画

パチンコ機販売シェア

**No. 1** を継続

販売シェア30%以上を盤石に

パチスロ機販売シェア

**15%** を獲得

上位グループの仲間入りを目指す

連結売上高

**2,200** 億円

パチンコ・パチスロ事業での成長を目指す

連結営業利益

**880** 億円

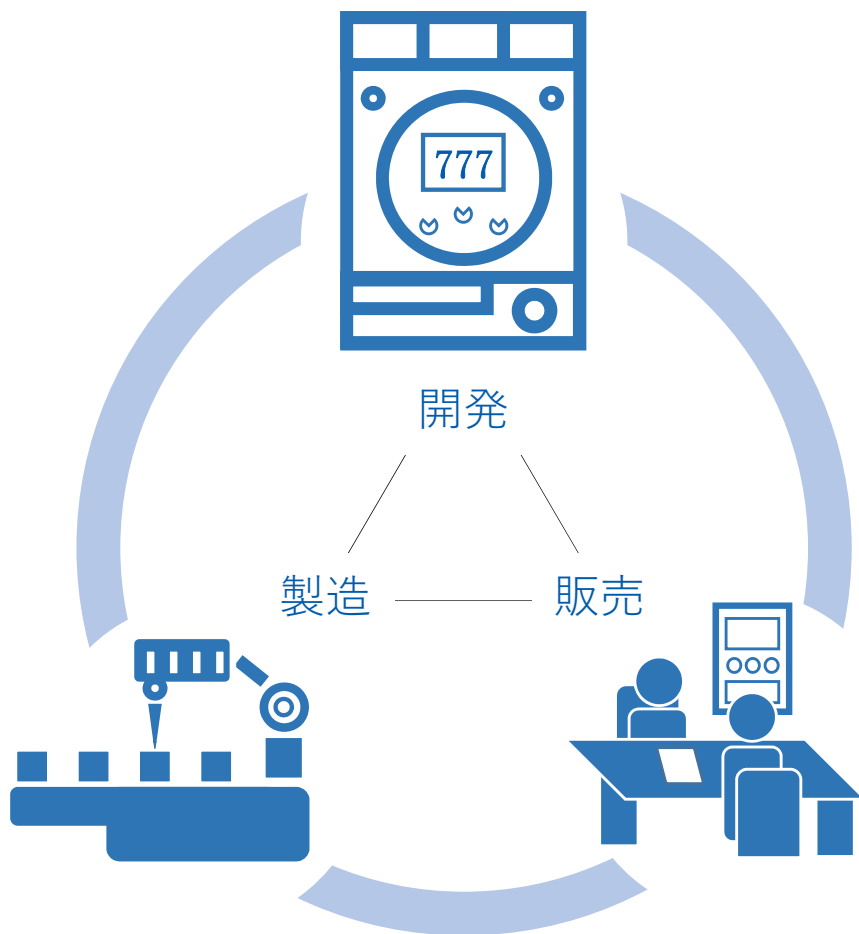
過去最高益を達成する

ROE

**15~20%**

利益成長、適切な株主還元で高水準を維持する

強みである『開発』『製造』『販売』の『総合力』により  
パチンコ・パチスロ事業でのさらなる成長を目指す



## 開発

3 ブランド展開 (SANKYO、Bisty、JB)

- ◆ 多種多様な商品展開
- ◆ メーカートップクラスの年間販売タイトル数
- ◆ 新規則への対応力

## 製造

日産 パチンコ 4,000台 パチスロ 1,500台

- ◆ 最新設備によるフルオートメーション化した工場で、高効率で生産
- ◆ 全国のパチンコホールへの一斉納品に対応する生産能力
- ◆ メーカートップクラスの部材調達力

## 販売

全国支店・営業所 23か所

- ◆ 全国に広がる拠点をベースに顧客ごとに寄り添った営業活動を展開
- ◆ 自社ブランドの直販比率は約80%と業界最高水準の直販比率

# 経営数値目標

(百万円)	3/2024 (実績)	3/2025 (計画)	3/2026 (計画)	3/2027 (計画)
売上高	199,099	180,000	200,000	220,000
パチンコ機関連事業	147,042	117,800	132,400	144,700
パチスロ機関連事業	32,143	51,600	57,000	64,700
営業利益	72,495	61,000	73,000	過去最高益 88,000
営業利益率	36.4%	33.9%	36.5%	40.0%
パチンコ機関連事業	61,165	40,500	48,400	57,600
パチスロ機関連事業	15,289	26,300	30,300	36,200
親会社株主に帰属する当期純利益	53,791	42,000	51,000	61,000
EPS (円)	203.81	191.48	232.51	278.10
1株当配当金 (円)	80 <sup>※</sup> (予想)	80	90	110
ROE	19.3%	15~20%		
パチンコ販売台数 (台)	297,648	247,700	280,000	320,000
想定市場シェア	34.9%	31.0%	31.1%	32.0%
パチスロ販売台数 (台)	70,379	119,500	130,000	150,000
想定市場シェア	8.8%	13.6%	14.4%	15.8%

※：2024年3月1日を効力発生日とした1株につき5株の株式分割が期首に行われたものとして算出

## パチンコ機関連事業データ

単位：百万円	3/2024（実績）	3/2027（計画）	増減
売上高	147,042	144,700	▲2,342
研究開発費	11,021	14,396	+3,375
営業利益	61,165	57,600	▲3,565
営業利益率	41.6%	39.8%	▲1.8pt

単位：台	3/2024（実績）	3/2027（計画）	増減
販売台数	297,648	320,000	+22,352
SANKYO+JB	154,339	220,000	+65,661
Bisty	143,309	100,000	▲43,309

## 中核事業として安定した収益を確保

- ◆ 3ブランドを活用し、多種多様な商品展開
  - 多様化するファンの嗜好に対応
  - 販売タイトル数の充実
- ◆ スペック・ゲーム性に拘り、独創的な商品開発
  - 新規性や技術革新に富んだ商品開発を推進
  - スマートパチンコの開発推進
- ◆ 新規タイアップ機の積極展開
  - 「機動戦士ガンダムシリーズ」、「新世紀エヴァンゲリオンシリーズ」に次ぐ、人気シリーズ機の創出

## パチスロ機関連事業データ

単位：百万円	3/2024（実績）	3/2027（計画）	増減
売上高	32,143	64,700	+32,557
研究開発費	4,274	5,833	+1,559
営業利益	15,289	36,200	+20,911
営業利益率	47.6%	56.0%	+8.4pt

単位：台			
販売台数	70,379	150,000	+79,621
SANKYO	46,834	100,000	+53,166
Bisty	23,545	50,000	+26,455

## 成長事業と捉え経営リソースを注ぐ

### ◆ 開発体制の拡充

- 販売タイトル数の充実、アライアンスの強化

### ◆ スペック・ゲーム性に拘り、独創的な商品開発

- 新規性や技術革新に富んだ商品開発を推進
- スマートパチスロの開発を推進

### ◆ 新規タイアップ機の積極展開

- 当社パチンコ機の人気タイトルを活用するとともに、新規タイアップ機も積極展開



## 市場環境予測

- ◆ コロナ禍（2020年）のファン人口710万人をボトムに、回復トレンドは継続

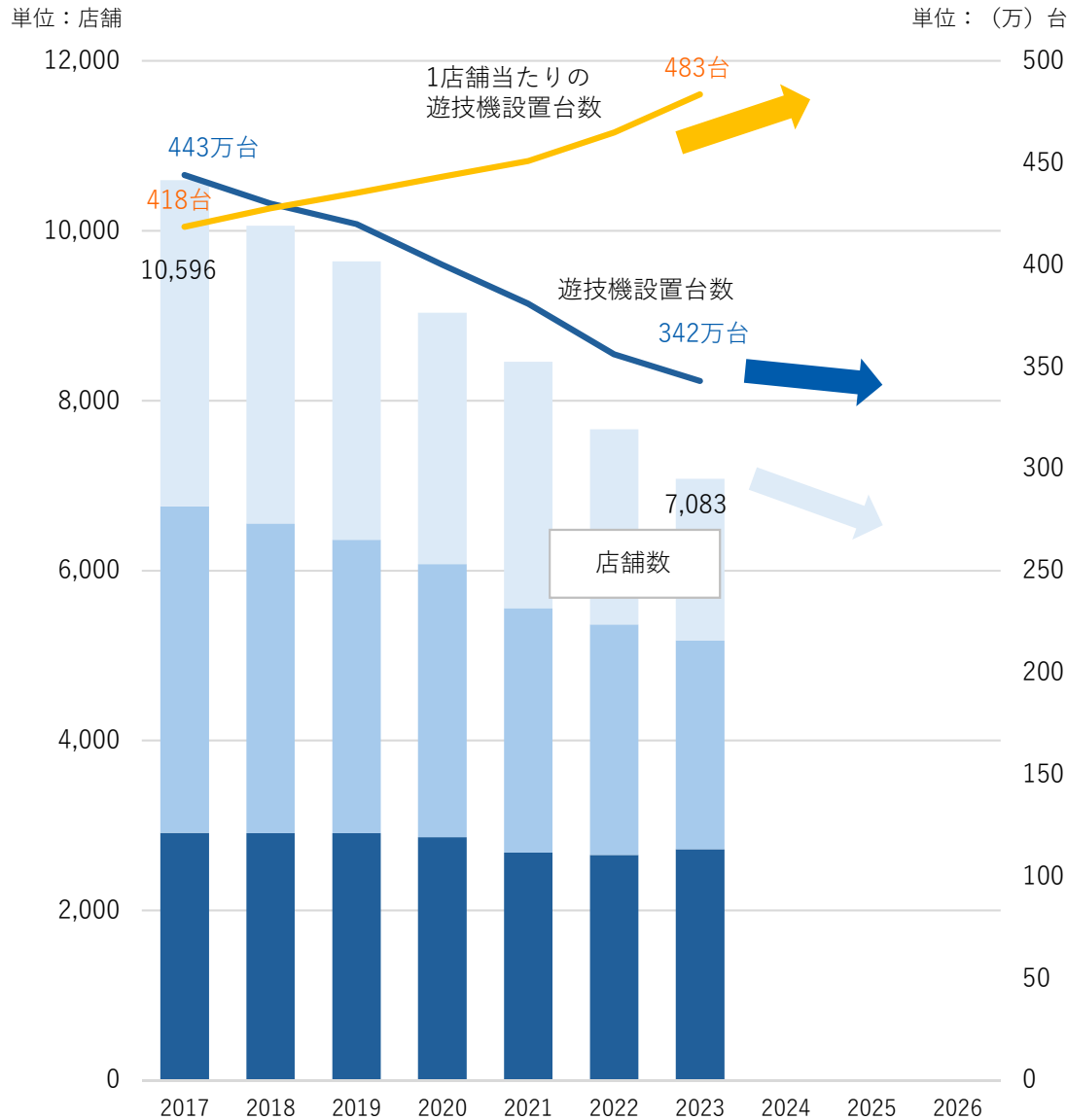
## ファン人口増加に向けた当社の取組み

- ◆ スマート遊技機の普及促進
- ◆ 多種多様な商品展開
- ◆ 新規タイアップ機の積極展開
- ◆ テレビCM、WEB広告の有効活用

出所：公益財団法人日本生産性本部



# 市場環境予測（パーラー店舗数・遊技機設置台数の推移）



出所：警察庁

## 市場環境予測

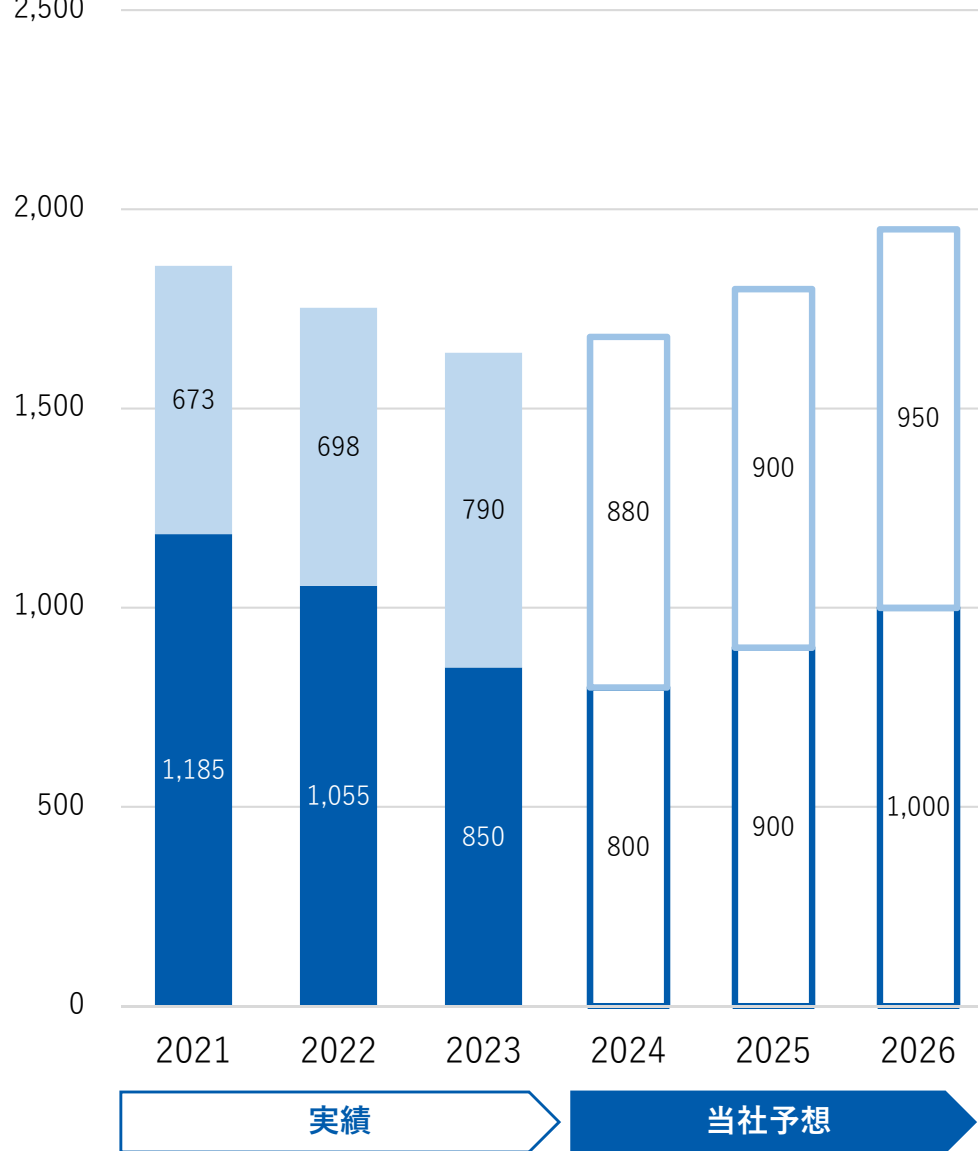
- ◆ 中小店舗を中心に、パーラー店舗数の減少トレンドは継続
- ◆ パーラーの大型化が進み1店舗当たりの設置台数は増加
- ◆ パーラー店舗数の減少に比べ、遊技機設置台数の減少は緩やかに減少

### 店舗設置台数

- 300台以下
- 301-500台
- 500台以上

# 市場環境予測（遊技機販売台数の推移）

単位：千台  
2,500



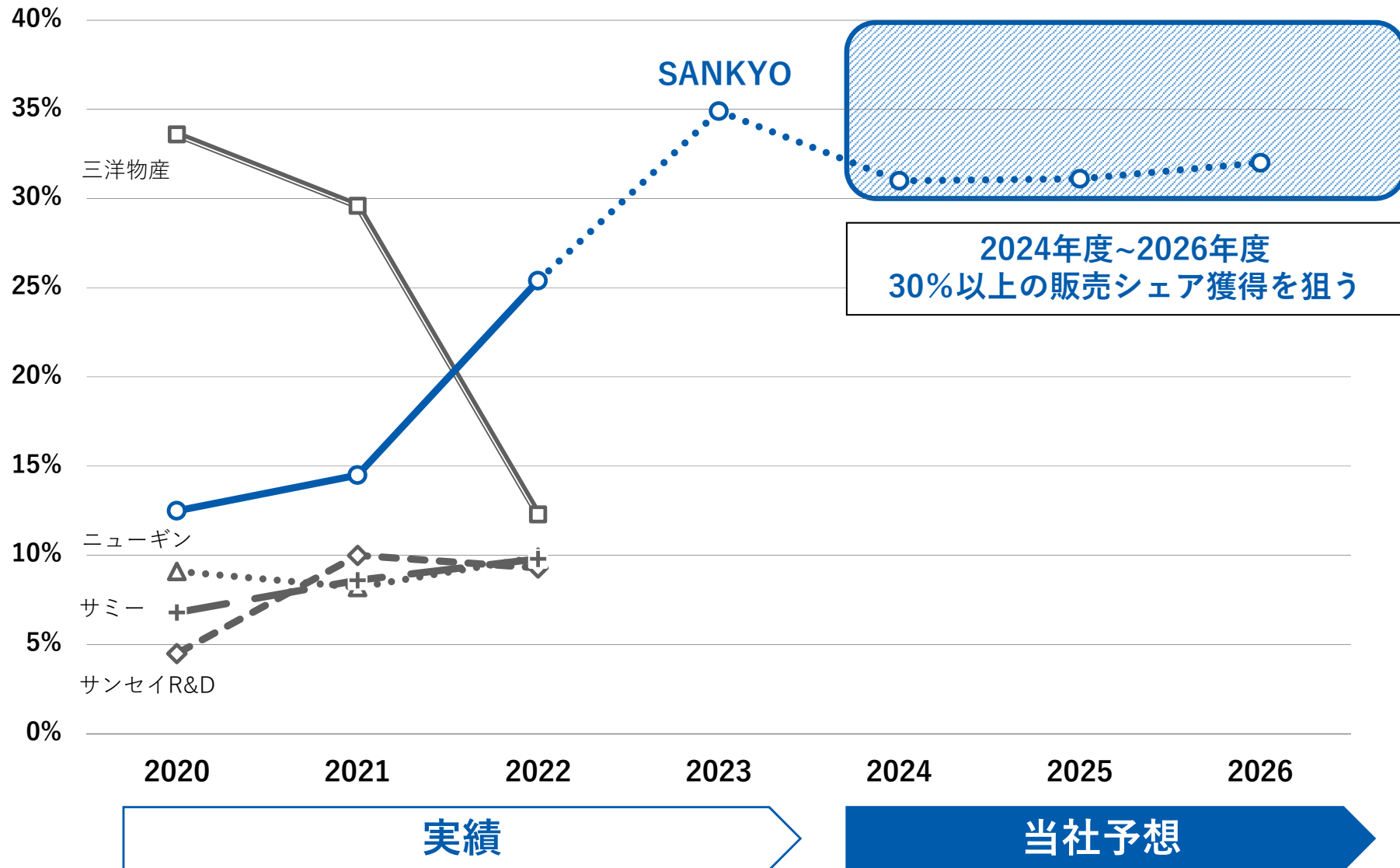
## 市場環境予測

- ◆ 2024年度はパチスロが好調なことから、一時的にパチンコとパチスロの販売台数が逆転することを見込んでいるものの、以後、スマートパチンコ機の普及が加速し、パチンコ・パチスロともに増加傾向に転ずると予想

■ パチスロ機販売台数  
■ パチンコ機販売台数

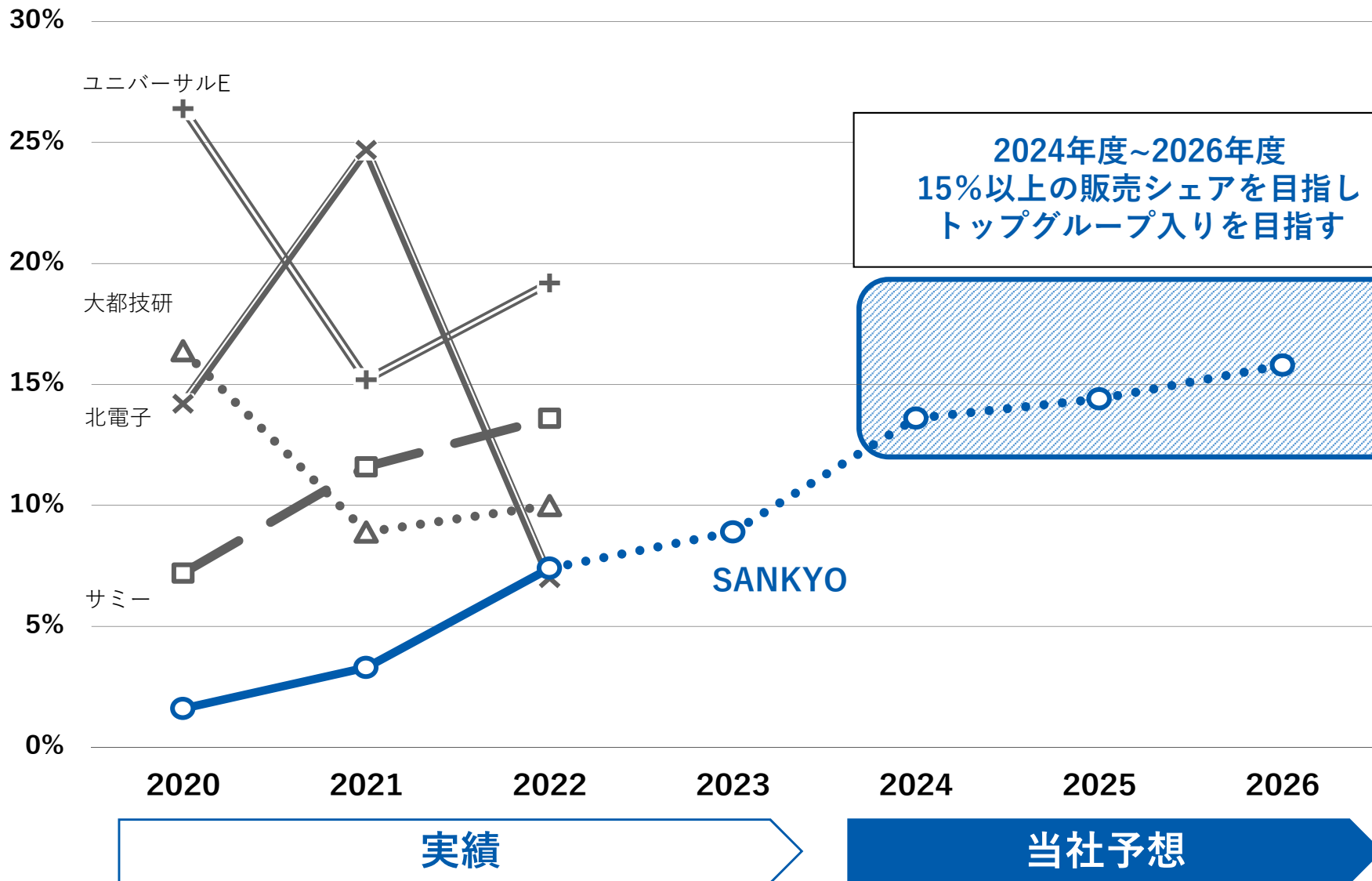
出所：パチンコ機販売台数：当社推計  
パチスロ機販売台数：矢野経済研究所（2023は当社推計）

# パチンコ機販売台数シェアの推移



出所：矢野経済研究所（2023は当社推計）

# パチスロ機販売台数シェアの推移



出所：矢野経済研究所（2023は当社推計）

漫画、アニメなどコンテンツIPの創出・展開を軸とした新しい取り組みを実施  
創出したコンテンツIPはパチンコ・パチスロ事業と連携することで相乗効果を狙う

## コンテンツIPの創出・展開

### ◆漫画制作・販売

出版社との協業等による漫画の制作、販売

### ◆アニメ、映像作品への出資

アニメなどの製作委員会への出資参加による権利の取得、分配金収入

### ◆遊技機二次利用コンテンツ、グッズ展開

当社遊技機のゲームアプリ化やグッズ化など、ライセンスアウトによる収益化、ブランディング

遊技機のIPとして利用

アプリやグッズとして利用

パチンコ・パチスロ事業

利益成長と適切な利益還元により  
 当社の資本コストを上回る R O E 15%~20%の達成を目指す

R O E は「伊藤レポート」<sup>\*</sup>で提唱されている8%以上を意識

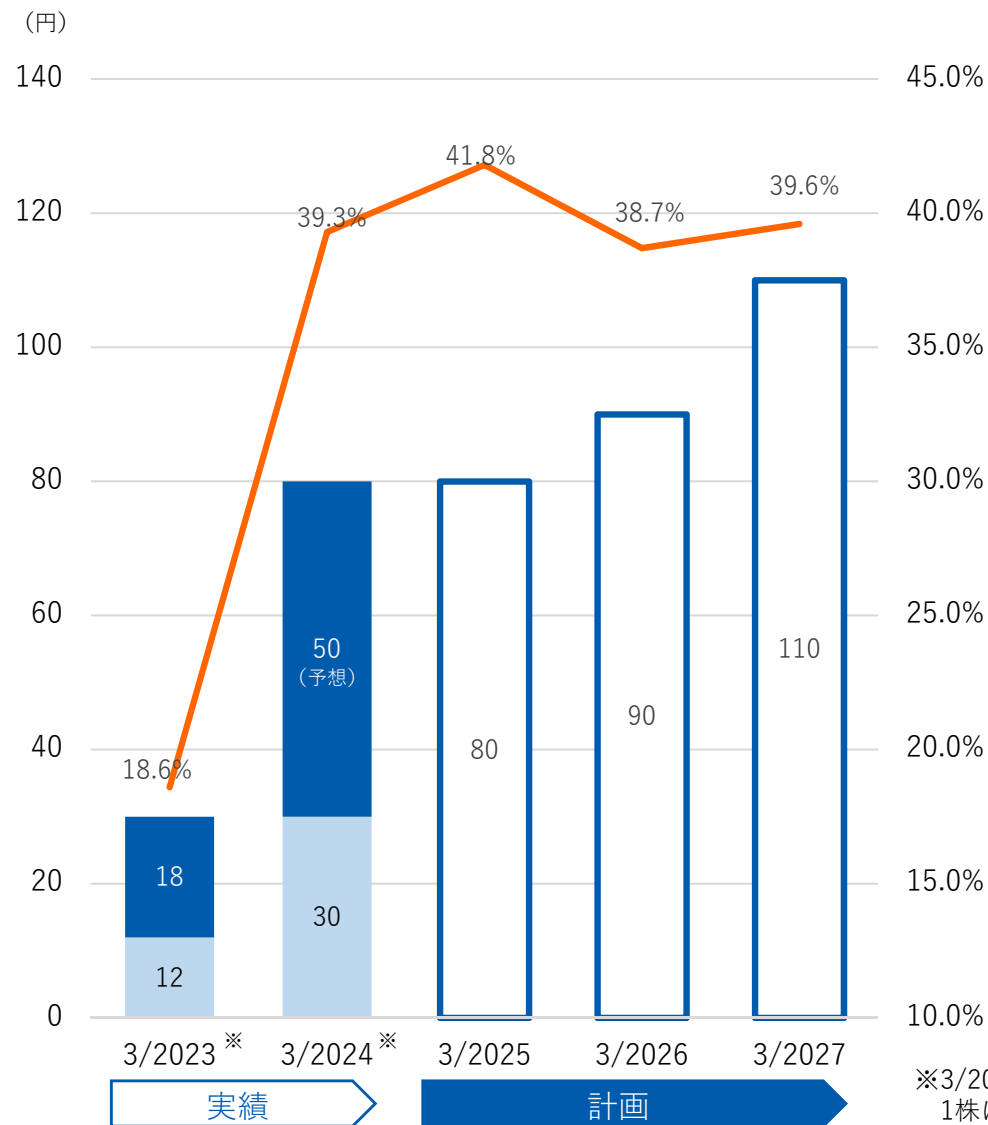
※経済産業省公表：「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～」プロジェクト（最終報告）

(百万円)	3/2023 (実績)	3/2024 (実績)	3/2025 (計画)	3/2026 (計画)	3/2027 (計画)
売上高	157,296	199,099	180,000	200,000	220,000
営業利益	58,532	72,495	61,000	73,000	88,000
営業利益率	37.2%	36.4%	33.9%	36.5%	40.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	46,893	53,791	42,000	51,000	61,000
EPS (円)	807.52 <sup>*</sup>	203.81	191.48	232.51	278.10
1株当配当金 (円)	150 <sup>*</sup>	80 <sup>※2</sup> (予想)	80	90	110
ROE	16.3%	19.3%	15~20%		

※：3/2023(実績)は2024年3月1日を効力発生日とした1株につき5株の株式分割は考慮されておられません

※2：2024年3月1日を効力発生日とした1株につき5株の株式分割が期首に行われたものとして算出

連結配当性向40%を目安とした業績連動型配当を基本としつつ、  
機動的な自己株式取得による追加株主還元も視野に適切なバランスシートマネジメントを実施



## 配当方針

- ◆ 連結配当性向 40%を目安とした業績連動型配当
- ◆ 1株当たりの年間配当金については下限を20円と設定し、安定配当の要素も取り入れる
- ◆ 中間配当金については、第2四半期累計期間の連結配当性向40%を配当金総額を目安とし、中間配当額を決定する時点での通期1株当たり配当金予想金額の50%を上限とする

## 自己株式取得

以下の要素を勘案し機動的に判断

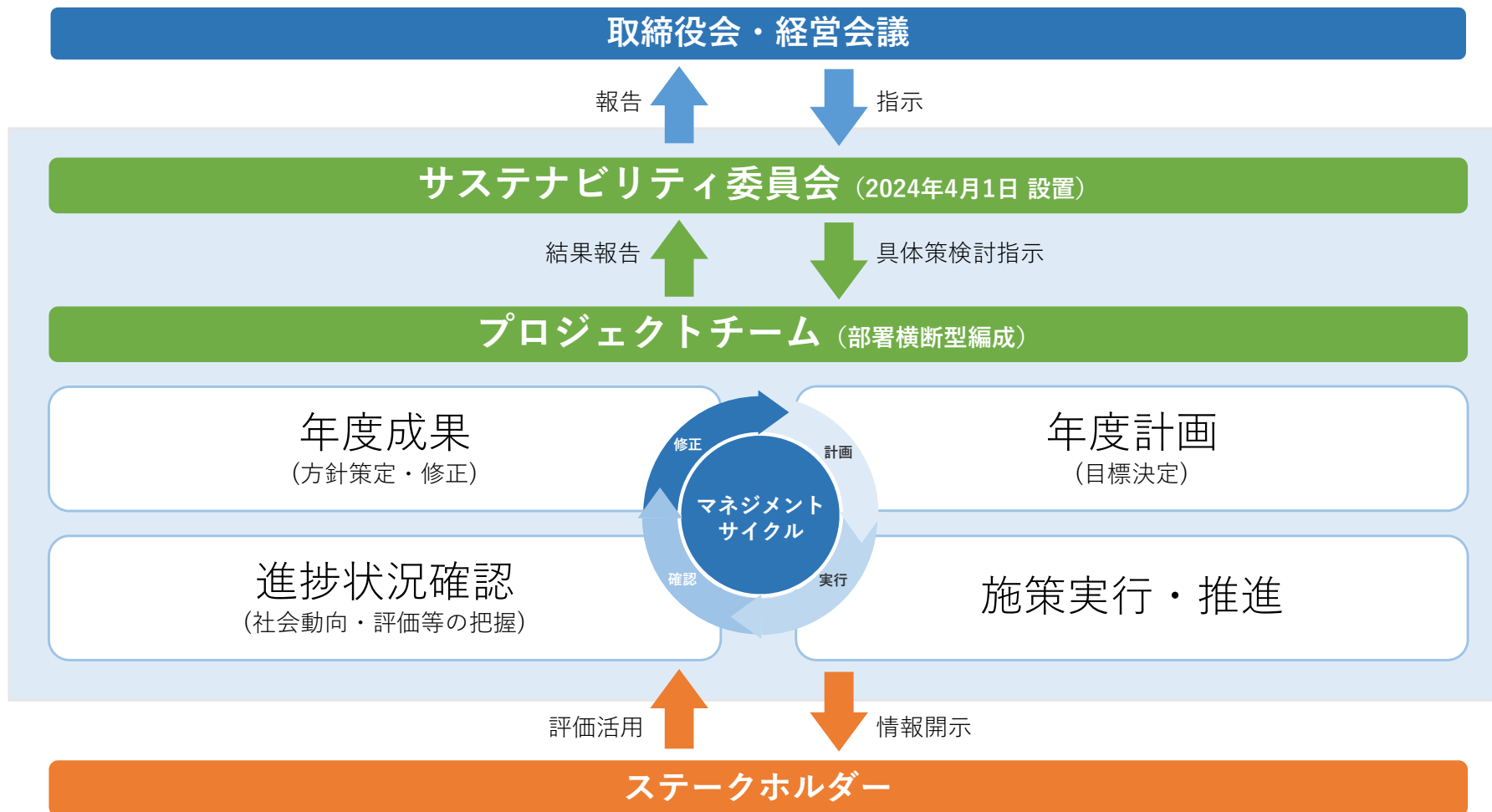
- ◆ 株価
- ◆ 株主・投資家の意見
- ◆ 業績の見通し
- ◆ 当社の経営環境 など

※3/2023及び3/2024実績は、2024年3月1日効力発生日とした1株につき5株の株式分割を考慮した金額

# サステナビリティ ESGへの取り組み



サステナビリティ委員会を設置し、全社横断的なマネジメントサイクルを構築  
持続可能な社会と企業成長を同時に実現し、企業価値の向上を図る



優先的に取り組む5つのサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）を特定  
今後、各マテリアリティに対する中長期目標及び具体策を検討、推進

## 1 創意工夫による革新的な商品の創出

- 付加価値の高い商品の創出
- イノベーションを可能にする組織・制度
- 製品の安全・安心に対する責任

## 2 人材の活躍推進

- 多様性・人権の尊重
- 人材開発への投資
- 働きがいのある職場づくり

## 3 環境負荷の低減

- 気候変動に向けた取り組み
- 資源の有効活用

## 4 社会的課題への対応

- エンドユーザーにおける依存症を防ぐための取り組み

## 5 コーポレートガバナンス

- 社会要請に適應したコーポレート・ガバナンスの推進

## Environment 環境



## Social 社会



## Governance ガバナンス



- 気候変動に向けた取り組み
- 資源の有効活用

- 依存症を防ぐための取り組み
- 多様性・人権の尊重
- 人材開発への投資
- 働きがいのある職場づくり

- 社会要請に適應したコーポレート・ガバナンスの推進

### ① リユース・リサイクルの促進

- ・遊技機のリサイクル推進（リサイクル率：約90%）
- ・中古機回収、部品再利用によるリユース機の取り組み

### ② 部材の共通化

- ・部材の共通化推進による部材ロスの低減（共通部材比率：パチンコ約50% パチスロ約80%）

### ③ 環境負荷物質の低減

- ・遊技機製造過程における環境負荷物質の低減（基板の鉛フリー化、メッキ品の削減など）

### ④ 再生可能エネルギー活用

- ・当社子会社 三共エクセルの工場屋根上に太陽光発電設備を設置（年間約286t-CO2のGHG排出削減効果）

### ⑤ 各事業所における省エネ化

- ・オフィス内照明のLED化推進

### ⑥ 業務の電子化（ペーパーレス化）

### ① パチンコ・パチスロ依存症への対策

- ・依存問題相談機関「リカバリーサポートネットワーク」の周知

### ② 障がい者雇用の推進

- ・障がいを持つ従業員が活躍できる職場環境の実現（障がい者雇用率2.4%）

### ③ 女性が働きやすい環境整備

- ・短時間勤務制度、育児休暇取得推進
- ・新卒採用における女性の積極採用（女性割合15%以上）

### ④ 人材確保の取り組み

- ・新卒初任給の21万円から30万円への引き上げ
- ・既存社員の平均昇給率15.3%の昇給実施

### ⑤ ワークライフバランスの推進

- ・適切な残業時間の管理（1人あたり平均残業16.9時間/月）

### ⑥ 地域活性化の支援

- ・企業版ふるさと納税による寄附の実施（群馬県桐生市、群馬県みどり市、群馬県伊勢崎市、鹿児島県大崎町 各500万円 ※一部物品寄附含む）

### ① 指名・報酬委員会の設置

- ・取締役等の指名や報酬等に関する評価・決定手続きにおける客観性・透明性・公正性を確保（2024年1月設置）

### ② 監査等委員設置会社への移行

- ・取締役会の監督機能強化及び権限委譲による意思決定と業務執行の迅速化（2024年6月予定）

### ③ コーポレートガバナンス・コードへの対応

### ④ コンプライアンス・リスク管理の強化

### ⑤ 内部統制システムの強化

### ⑥ グループガバナンスの強化

## 経営企画部 I R室



[ir-desk@sankyo-fever.co.jp](mailto:ir-desk@sankyo-fever.co.jp)



<https://www.sankyo-fever.co.jp/corporate/ir/>

### 【免責事項・見通しに関する注意事項】

本資料は情報提供を目的としており、一切の投資勧誘又はそれに類似する行為を目的とするものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行っていただきますようお願いいたします。

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場の経済状況および製品需要の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。